

## 業務の目的・意義

- 湖西市におけるPPP/PFI手法の導入を進めるために、PPP/PFIの基礎知識習得から業務実施支援まで、PPP/PFI手法の導入に係る全般的な基礎資料として活用できるように優先的検討規程（案）を策定する。
- 策定した優先的検討規程（案）に基づいた試験的な運用の結果から、他の地方自治体における取組や内閣府の現行の手引等の改善に活かせるポイント・課題等を整理する。

## 優先的検討規程に基づいた運用支援（（仮称）市役所庁舎建設事業）

### ① 事業概要

- 市役所庁舎の建替、既存庁舎の解体及び駐車場整備についてPFI手法の導入を検討するものである。

### ② 支援内容

- 湖西市職員自らが、優先的検討規程（案）及び付属資料（様式、概算事業費（従来手法）試算エクセルシート（※3ページ目に見本を掲載））を用いて（仮称）市役所庁舎建設事業に関して簡易な検討を行う。
- 湖西市職員から、優先的検討規程（案）を運用した結果のフィードバックを受けて、優先的検討規程（案）及び付属資料をより実用性の高い内容に改善する。

### ③ 試験的な運用を踏まえたフィードバックの概要

- 試験的に（仮称）市役所庁舎建設事業をテーマとして優先的検討規程（案）を運用してみたが、定性的な評価・定量的な評価共に、特に進め方について迷うことはなかった。
- 定性的な評価については、各項目の考え方やPPP/PFI手法の適否に関する判断基準等の解説があると、判断の手助けになり良いと思う。
- 想定されるスケジュールの記入欄は、PPP/PFI手法を導入する場合の内容を記入するように促す工夫があると良い。
- 概算事業費（従来手法）試算エクセルシートは、検討に着手する上で、大きな負担軽減になる。一方で、検討の初期段階であっても、試算した概算事業費が独り歩きしてしまい、後の検討を妨げることがないか懸念している。
- 様式及び概算事業費（従来手法）試算エクセルシートについて、記入等に迷う部分があるので、説明等があると良い。

## 優先的検討規程の策定

- 湖西市優先的検討規程（案）の概要を、①～④にまとめる。

①	<b>優先的検討の開始時期</b> 特定の事業が想定される場合：公共施設等の整備等を行うために基本構想・基本計画等を策定する場合、公共施設等の運営等の見直しをする場合 特定の事業が想定されない場合：国公有地の未利用資産等の有効活用を検討する場合、公共施設等の集約化・複合化等を検討する場合
②	<b>優先的検討の対象事業</b> 事例分析及び湖西市の過去の事業費実績を勘案して、PPP/PFI手法の導入機会を逸せず、かつ縮減効果が見込める事業費規模として、以下の通り事業費の規模を設定。 ・建設、製造又は改修を含む事業であって、 <b>事業費の総額が5億円以上の事業</b> ・運営等のみを行う事業であって、 <b>単年度の事業費が5,000万円以上の事業</b>
③	<b>簡易な検討（定性的評価）</b> 事業特性に関する事項：民間事業者の創意工夫の余地、事業にあたることのできる民間事業者が複数あるか、事業期間を長く設定できるか、リスク分担を明確にできるか、スケジュールの確保 行政に関する事項：法規制等の制約、補助・財政措置等の課題、その他の課題
④	<b>簡易な検討（定量的評価）</b> VFMの検討は、内閣府資料を活用。VFMの推計上必要な、従来手法を用いた場合の事業費を試算するエクセルシート（概算事業費（従来手法）試算エクセルシート）を作成。

- 上記の他、市への支援の過程から得られた知見から、次の①～③の工夫をした。

①	<b>3部構成による編集（PPP/PFI手法導入に係る全般的な基礎資料として作成）</b> 優先的検討規程（案）を、3部構成（基礎知識編、優先的検討規程編、事業化検討編）で作成することで、PPP/PFI手法導入に係る全般的な資料として活用できるように作成。
②	<b>「概算事業費（従来手法）試算エクセルシート」の作成</b> VFMの推計に用いる内閣府資料（簡易な検討の計算表（エクセル）、手引の別紙）は、従来手法を用いた場合の事業費を自治体で試算する必要があり、これが難しいと湖西市との協議で把握した。このため、事業条件（施設種別、想定施設規模、解体する施設の構造及び延床面積、維持管理・運営の事業期間、運営体制）を入力すると、自動計算で概算事業費がアウトプットされるエクセルを作成した。
③	<b>PPP/PFI手法の導入体制の検討</b> PPP/PFI事業を推進するには、事業スケジュールや予算確保に係る庁内コンセンサスの形成を、PPP/PFI事業検討の初期段階より行うことが重要である。このため、「簡易な検討」を踏まえて「詳細な検討」を実施するか否か判断するとともに、予算確保・事業の実現に向けて、財務系の組織が検討プロセス段階と意思決定段階に継続的に関わることができるようにPPP/PFI手法の導入体制を検討した。 湖西市では、現行の予算化プロセスに【1】複数部署で検討する体制の構築（複合化等する場合）、【2】「詳細な検討」を行うか決定する庁庁的機関、【3】湖西市公共施設等総合管理計画に基づく複合化等の検討状況の確認機能を組み込んで、体制を構築する方針としている。

## 業務の目的・意義

- 菊川市におけるPPP/PFI手法の導入を進めるために、PPP/PFIの基礎知識習得から業務実施支援まで、PPP/PFI手法の導入に係る全般的な基礎資料として活用できるように優先的検討規程（案）を策定する。
- 策定した優先的検討規程（案）に基づいた試験的な運用の結果から、他の地方自治体における取組や内閣府の現行の手引等の改善に活かせるポイント・課題等を整理する

## 優先的検討規程に基づいた運用支援（駅北構想事業）

### ①事業概要

- 平成29年4月に策定した「菊川駅北整備構想」に基づく、菊川駅南北自由通路の整備に合わせた駅前広場の整備と賑わい創出に関して、PFI手法導入を検討している。

### ②支援内容

- 菊川市職員自らが、優先的検討規程（案）及び付属資料（様式、概算事業費（従来手法）試算エクセルシート（※3ページ目に見本を掲載））を用いて駅北構想事業に関して簡易な検討を行う。
- 菊川市職員から、優先的検討規程（案）を運用した結果のフィードバックを受けて、優先的検討規程（案）及び付属資料をより実用性の高い内容に改善する。

### ③試験的な運用を踏まえたフィードバックの概要

- 試験的に駅北構想事業をテーマとして優先的検討規程（案）を運用してみたが、定性的な評価・定量的な評価共に、特に迷うことはなかった。
- 定性的な評価については、各項目の考え方やPPP/PFI手法の適否に関する判断基準等の解説があると、判断の手助けになり良いと思う。
- 想定されるスケジュールの記入欄は、PPP/PFI手法を導入する場合の内容を記入するように促す工夫があると良い。
- 様式及び概算事業費（従来手法）試算エクセルシートについて、記入等に迷う部分があるので、説明等があると良い。

## 優先的検討規程の策定

- 菊川市優先的検討規程（案）の概要を、①～④にまとめる。

①	<p><b>優先的検討の開始時期</b></p> <p><b>特定の事業が想定される場合：</b>公共施設等の整備等を行うために基本構想・基本計画等を策定する場合、公共施設等の運営等の見直しをする場合  <b>特定の事業が想定されない場合：</b>国公有地の未利用資産等の有効活用を検討する場合、公共施設等の集約化・複合化等を検討する場合</p>
②	<p><b>優先的検討の対象事業</b></p> <p>事例分析及び菊川市の過去の事業費実績を勘案して、PPP/PFI手法の導入機会を逸せず、かつ縮減効果が見込める事業費規模として、以下の通り事業費の規模を設定。          ・建設、製造又は改修を含む事業であって、<b>事業費の総額が3億円以上の事業</b>          ・運営等のみを行う事業であって、<b>単年度の事業費が5,000万円以上の事業</b></p>
③	<p><b>簡易な検討（定性的評価）</b></p> <p><b>事業特性に関する事項：</b>民間事業者の創意工夫の余地、事業にあたることのできる民間事業者が複数あるか、事業期間を長く設定できるか、リスク分担を明確にできるか、スケジュールの確保  <b>行政に関する事項：</b>法規制等の制約、補助・財政措置等の課題、その他の課題</p>
④	<p><b>簡易な検討（定量的評価）</b></p> <p>VFMの検討は、内閣府資料を活用。VFMの推計上必要な、従来手法を用いた場合の事業費を試算するエクセルシート（概算事業費（従来手法）試算エクセルシート）を作成。</p>

- 上記の他、市への支援の過程から得られた知見から、次の①～③の工夫をした。

①	<p><b>3部構成による編集（PPP/PFI手法導入に係る全般的な基礎資料として作成）</b>          優先的検討規程（案）を、3部構成（基礎知識編、優先的検討規程編、事業化検討編）で作成することで、PPP/PFI手法導入に係る全般的な資料として活用できるように作成。</p>
②	<p><b>「概算事業費（従来手法）試算エクセルシート」の作成</b>          VFMの推計に用いる内閣府資料（簡易な検討の計算表（エクセル）、手引の別紙）は、従来手法を用いた場合の事業費を自治体で試算する必要があり、これが難しいと菊川市との協議で把握した。このため、事業条件（施設種別、想定施設規模、解体する施設の構造及び延床面積、維持管理・運営の事業期間、運営体制）を入力すると、自動計算で概算事業費がアウトプットされるエクセルを作成した。</p>
③	<p><b>PPP/PFI手法の導入体制の検討</b>          PPP/PFI事業を推進するには、事業スケジュールや予算確保に係る庁内コンセンサスの形成を、PPP/PFI事業検討の初期段階より行うことが重要である。このため、「簡易な検討」を踏まえて「詳細な検討」を実施するか否か判断するとともに、予算確保・事業の実現に向けて、財務系の組織が検討プロセス段階と意思決定段階に継続的に関わることができるようにPPP/PFI手法の導入体制を検討した。          菊川市では、現行の政策検討体制に【1】複数部署で検討する体制の構築（複合化等する場合）、【2】「詳細な検討」の実施判断を既存の会議体に委ねる、【3】菊川市公共施設等総合管理計画に基づく複合化等の検討状況の確認機能】を組み込んで、体制を構築する方針としている。</p>

対象：静岡県湖西市、静岡県菊川市

内閣府 民間資金等活用事業推進室

様式

湖西市 PPP/PFI手法導入検討シート (様式1-1)

記入：令和 年 月 日

【事業概要】

事業担当課

事業名称

施設種別 ▼プルダウンから選択

事業目的

複合化等の可能性

スケジュール (想定)

用地情報

事業規模 (想定)

概算事業費 (想定)

補助制度

※ 湖西市公共施設等総合管理計画等の上位・関連計画における

「簡易な検討」の結果を整理する様式。

【PPP/PFI手法の導入可能性】 (様式1-2)

概算事業費 (従来手法) 億円 (備考) 事業期間: 年

民間事業者の創意工夫の余地

事業にあたることのできる民間事業者が複数あるか

事業期間を長く設定できる可能性

官民の役割分担を明確にできる (リスク分担)

PPP/PFI手法の導入に必要なスケジュールを確保できる

法規制等の制約や補助制度・財政措置等課題の有無

その他、PPP/PFI手法を導入する場合の課題

②事業形態

③事業手法

④発注方式

PPP/PFI手法簡易定量評価調査

用地の所有

事業者への要求内容

類似事例

備考

様式は、職員の事務負担を軽減するために優先的検討規程(案)における「簡易な検討」の手順と対応するように構成を検討している。

概算事業費 (従来手法) 試算エクセルシート

対象の事業に関して、下記の情報を入力すると、従来手法を採用した場合の総事業費が自動計算でアウトプットされる。

- 対象施設の施設種別、想定規模
- 解体する施設の構造、延床面積
- 維持管理・運営業務の期間
- 運営業務の体制 (自治体が直営で運営する場合の等級別の配置人数を入力)

概算事業費 (従来手法) 試算シート【入力欄】 (様式2)

施設名称 (導入機能)	施設種別	想定規模 (㎡)	解体する施設の規模 (㎡)	解体する施設の構造	維持管理業務の期間 (年)	運営体制		解体工事費		概算事業費 (万円)			合計			
						等級	人数	市:実績値	JSCI	設計費	建設費	維持管理費	運営費	市:実績値	JSCI	
市役所庁舎	行政系施設(庁舎)	7000	鉄筋コンクリート造	7000	15	正規職員(1級)	1	15	26,911.76	21,363.30	63,000.00	315,000.00	66,990.00	3,956.14	475,858	470,309
						正規職員(2級)	3	15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12,868.38	12,868	12,868
						正規職員(3級)	3	15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12,915.79	12,916	12,916
集合施設	行政系施設(庁舎)	500	木造	500	15	正規職員(1級)	1	15	8,650.00	1,106.20	4,500.00	22,500.00	4,785.00	3,956.14	36,606	36,847
						正規職員(2級)	2	15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,610.53	8,611	8,611
						正規職員(3級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(4級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(5級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(6級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(7級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(8級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(9級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(10級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(11級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(12級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(13級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(14級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(15級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(16級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(17級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(18級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(19級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0
						正規職員(20級)	0	0	0.00	0.00	#N/A	#N/A	#N/A	0.00	0	0

想定施設規模: 7500 ㎡

概算事業費 市実績値: 54,690.00 億円 JSCI: 54,160.00 億円

2) 既存施設の解体を業務に含めるか入力する

3) 検討中の事業の想定規模と概算事業費 (従来手法) が自動で集計される

● : 市入力 ● : プルダウンから選択 ● : 自動計算

□ : 計算エラーを避けるために初期値を入力しています。(手入力の欄をゼロで入力すれば、合計に算入されません)

「簡易な検討の計算表 (内閣府)」によるVFMの試算を支援。

簡易な検討の計算表 (内閣府)

入力内容に応じて、VFMが試算される。

※ 概算事業費 (従来手法) 試算シートで試算した結果を入力する。

「PPP/PFI手法簡易定量評価調査」に記入する値等が集計される。

(出典：簡易な検討の計算表 (内閣府))